

2025年度

**大阪府訪問看護実践研修事業
教育ステーション事業**

市南ブロック

訪問看護ステーション ナウロマンティック

藤岡 律子

目標

1. 多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進させる
2. 防災について地域の特徴を知り、一人一人が安全に避難できるように日頃から防災について考える
3. 感染の蔓延や突発時の事態に対応できる訪問看護ステーションや多職種の育成、在宅生活の維持に必要な口腔ケアを習得し在宅支援に繋げていく

研修事業① ACP研修

開催日：6月21日（土）

場所：西成区民センター

目標人数：50名 /実績40名

【気づいたこと】

- ・多くの意見を聞き利用者役を体感し関わり方の認識が変わった。
- ・無理な答えを求めないという支援者の共通認識を持ちながら利用者と家族の思いを引き出す難しさもあらと感じた。

グループワークでは自分と違った視点を知ることができた、一緒に考えることで学びを深めることができた。



研修事業②防災について

開催日：11月13日（木）

場所：西成区民センター

目標人数：30名 / 実績22名

【気づいたこと】

- ・グループワークで避難所ゲームを使用、避難所想定を実感一緒に考えることができた。

しかし一部は避難所運営の難しさを痛感し不安に繋がってしまったという意見も少数あった。

未経験の点から、非現実的なイメージが強い為、怖さが先立ったように感じた。

実際に避難所を経験された人からの体験話などがあれば、受け止め方も変わった可能性も

考えられた。

- （その他）・避難物品の展示
- ・災害対策のチラシ配布



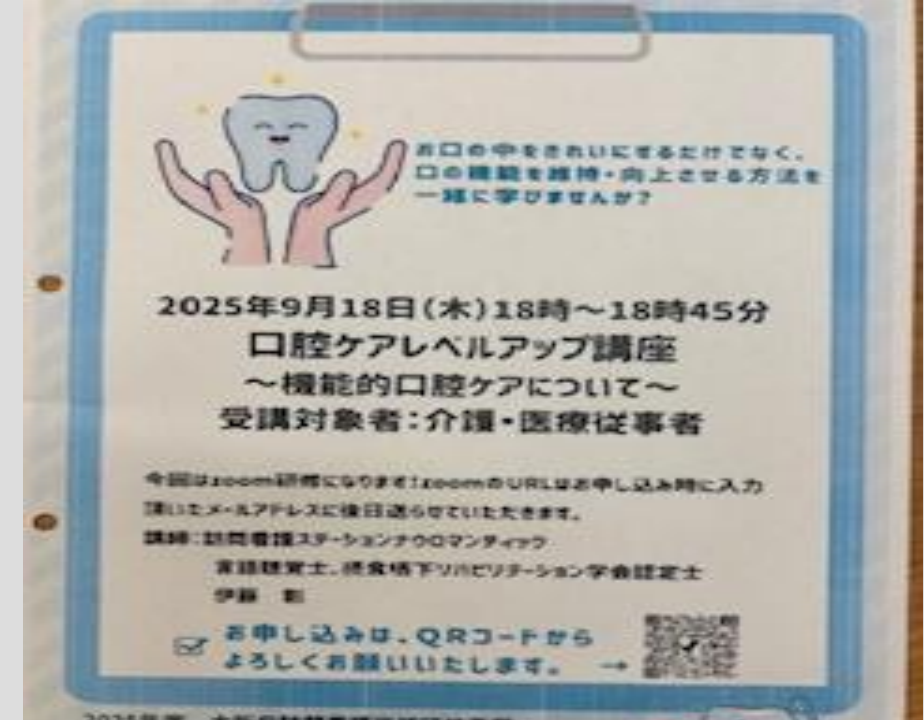
研修事業③（ズーム研修） 口腔ケアレベルアップ講座

開催日：9月18日（木）

目標人数：30名 / 実績35名

【気づいたこと】

- ・口腔ケア介入は約70%うち
言語聴覚士と共に介入50%であった。
- ・要介護者での口腔ケアは在宅生活を送るうえで欠かせないケアであり、
肺炎予防や生活習慣病発症リスクを抑え日常生活をよりよくするためにも
継続が必要と考える。



府民への相談支援事業①

内容：介護看護相談

開催日：5月24日（土）

地域：西成区

場所：自社デイサービス（西成区岸里東）

対面5名

【気づいたこと】

大雨警報発令のため、外出者殆どなし。

自社のデイ利用者から5名参加

・何かの介護サービス利用、独居生活の人は近隣住民と繋がっている人が多い

パン、総菜や宅配弁当など偏食傾向。

・天候不良も想定し、

別日設定も必要であった。



府民への相談支援事業②

内容：避難時の常備薬について

開催日：11月1日～11月30日

対象地区：西成区・住之江区

配布数：各100枚ずつ

【気づいたこと】

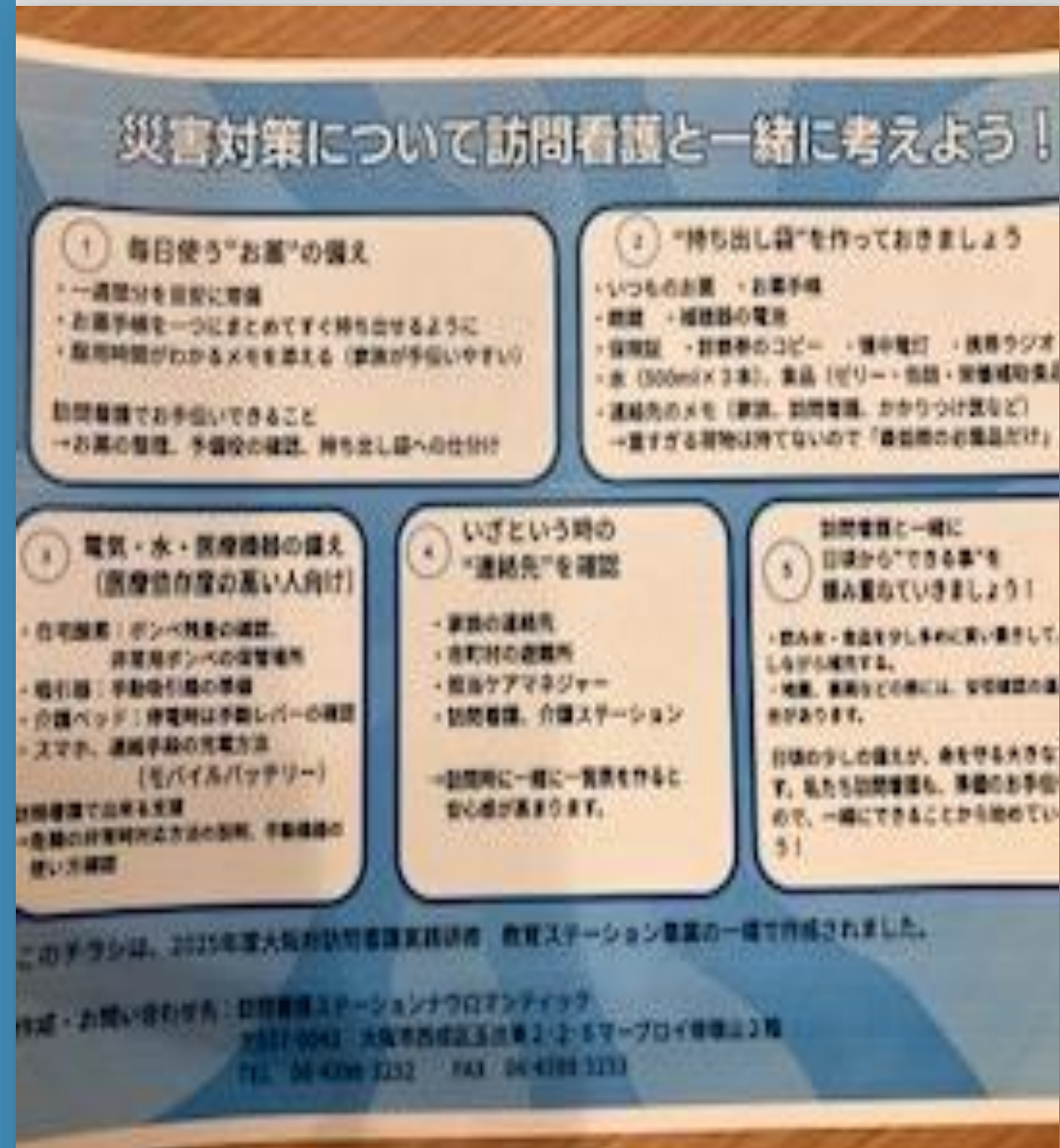
考えるきっかけとして

防災の日（9月1日）はニュースでの情報や各地域でも9～11月頃に避難訓練が行われるるタガイミングとなっていた。

災害用品や非常食などの販売が増えるため、必然的に意識が高まることが分かった。

災害の怖さや避難方法など、今できる事を

改めて考えるきっかけとなり、どんな備えが必要なのかを知ることができた。



体験研修

【看護業務】

・参加者数：目標2名 / 実績 2 名

参加者職種：訪問看護師経験あり 2名

管理業務

参加者数：管理業務訪問看護師経験あり 1
名（2か所）

【気づいたこと】

今年は精神訪問看護やNPO事業所など

地域に多用化している事業所に依頼。

制度以外で孤立させないよう住宅手関係手続の支援、農園の管理や農作物の収穫などの体験、地域に溶け込み利用者の立場を考える視野を持つことの大切さを知ることができた。



電話相談

目標20件 / 14件

相談内容：特別訪問看護指示書、精神科訪問看護について

請求関係について

【気づいたこと】

- ・質問内容に対する答えや解決方法を提示している
- ・請求に関しては、請求先にも質問することを勧め、相違がないように説明している。
- ・業務中のため、即座に返答できない時もあった、可能な範囲で受付時間内は業務調整するように心がけた。

訪問看護員、ケアマネジャー、その他専門職の皆様へ
訪問看護「教育ステーション」による

電話・FAX相談を 開設しました！

相談無料

訪問看護に関する様々な相談をお受けします。

- 訪問看護やリハビリのサービス導入方法
- 訪問看護の制度（記録・指示書・請求方法など）
- 多職種との連携
- 在宅療養に向けて必要となる医療的ケア
～など、電話もしくはFAXでご相談ください。

阿倍野区
西成区
住之江区の
相談窓口です

お申込み・お問い合わせ

訪問看護ステーション ナクロマンティック（校島：藤岡）
（市南ブロック教育ステーション）
TEL：06-4398-3252
FAX：06-4398-3253

5月～12月
まで

コンサルテーション

対面 目標3件 / 実績3件

- ①皮膚潰瘍 1件
- ②肺がん末期、数か所の褥瘡 1件
- ③頻回な誤嚥、食事介助ト食事形態について 1件

【気づいたこと】

- ①適切な湿潤環境とドレッシング剤、軟膏の選定。
- ②除圧、ポジショニングクッションの選定、保湿ケアの継続。
- ③体系にフィットした車いすの選択、頭部緊張の除去、トロミの程度についての指導。

コンサルテーション事業のご案内

訪問看護師のケアの質の向上を図ることを目的に、
コンサルテーション事業を行います。
同行訪問、電話相談等ができます。
お気軽にご相談ください！

相談
無料

【コンサルテーション内容】
○ステーション事業、営業、教育のこと
○ソハビリセラピスト（PT・OT・ST）への相談
○看護実践に関する課題（困難事例の対応、
看護サービスの内容や方法）へのアドバイス
…など、お困りのことがありましたらご連絡ください。

【相談窓口】

（2025年度市南ブロック教育ステーション）
訪問看護ステーション ナウロマンティック

○相談日時：月～金 9：00～17：00

○相談方法：電話もしくは対面
まずは別紙申込用紙（FAX）で
お申し込みください。

○FAX：06-4398-3253

○2025年12月末まで随時受付

訪問看護ステーションナウロマンティック（担当：藤岡）

〒557-0043 大阪市西成区玉出東2-2-6 アープロイ南守山2階

（その他）看看連携×交流会

開催日：10月10日

場所：大阪鉄道病院

目標：50名 /実績 48名

【気づいたこと】

独居。超高齢・認知症という在宅生活を現状を知りたいとの意見があり、

実際の生活状況をスライド作成、病室との違いをリアルに伝えることができた。

退院決定の時点で自宅訪問の調査も重要な情報であることを気づけた。

病院・在宅でのお互いの役割を知ることができたこと、定期的な情報交換ができる場があれば連携も強くなると感じた。



協力ステーション・協力ナース

【協力ステーション名・所在地・役割やサポート内容】 4ステーション

- ・天神の森訪問看護ステーション（西成区）研修の広報や当日の手伝い
- ・訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ（住吉区）研修の広報や当日の手伝い
- ・イーエル訪問看護ステーション（住之江区）研修の広報
- ・ゲンリハビリ訪問看護ステーション（阿倍野区）研修の広報や当日の手伝い

【協力ナース名・所属・資格・サポート内容】 4名

- ・渡辺匡人（ちむ訪問看護ステーション）皮膚・排泄ケア認定看護師：コンサルテーション
- ・蔵垣信子（ありく平野訪問看護ステーション）訪問看護認定看護師：ACP研修
- ・田端支普（訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ）訪問認定看護師：ACP研修
- ・伊藤彰（訪問看護ステーションナウロマンティック）言語聴覚士リハビリテーション学会認定士
：コンサルテーション

目標に対する評価

①ACPを広めるには、研修受講後の行動が重要で実際に取り組むタイミングや誰が実施するのかなど、実践に繋げるための方法を決めておくと思わずに行動できるのではと感じた。

②防災について、町内会による安否確認の訓練を実施している地域もあることを知るこ都ができた。しかし、自宅環境の状況や備蓄、常備薬の備えなどの意識が浸透していないように感じた。

非常食には興味があった、その次に排泄面や衛生材料、その次に薬が必要との結果であった。準備は必要意識の強いものから揃えてしまうため、具体的な呼びかけが必要と感じた。

③口腔ケアについて、要介護者にとって肺炎や生活習慣病の発症リスクを抑えられる事、日常生活をよりよく安心して過ごせることに繋がると再認識できた。

まとめ

今年は2期目、昨年と比較して全体的な動きも見え、計画的に進めることができた
小規模ステーションのためスタッフの協力が不可欠で、集合研修の資料作成や当日参加
や手伝い、チラシ配布など、指示しなくても一人一人が自主的に動いてくれ、
スタッフの成長した部分を感じることができた。

協力ステーションや協力ナースとの連絡ツールがSNS使用のため、時間差が生じて
しまい連携がとりづらい部分もあった。余裕持って取り組みたい。

次年度は役員会議の時などに情報共通できるような計画を立て、早期対応に心掛けたい
地域の中で、研修活動の意識が高まってきているため、より地域に寄り添った内容や、
多職種・看看連携の交流会を増やし、訪問看護師の認知・役割を広めていきたい。